

議事概要

1. 日 時 平成28年12月1日(木) 10時00分～11時40分

2. 場 所 札幌第1合同庁舎 10階第3・4号会議室

3. 出席者

[委員長]

田村 亨 北海道大学大学院 教授

[委員]

加藤 由紀子 北海商科大学 教授

島本 和明 日本医療大学 総長

高橋 清 北見工業大学 教授

平岡 祥孝 札幌大谷大学 教授

山崎 幹根 北海道大学大学院 教授

4. 議 事

(1) 計画段階評価について 北海道横断自動車道網走線(端野～高野)第1回目

【委員からの主な意見】

- ・オホーツク圏は、日本の「食」を担っている地域。これらを支える高規格幹線道路網は重要。
- ・地域医療を支える道路が重要であることを示していることは良いこと。
オホーツク圏の医療は北見市の重要性が更に増している。北見でも処置できない高度医療は札幌に空路で搬送されるため、北見市と女満別空港の連結強化が重要。
- ・ひがし北・海・道の広域観光周遊の取組みでは、インバウンド観光は女満別空港を拠点として周遊すると想定しているため、意見聴取の対象として考慮されたい。
- ・北海道の道路ネットワークは旭川ルートと帯広ルートがあるため、端野～高野間の検討にあたっては、北見から遠軽間の計画や事業進捗を説明資料に図示しておく必要がある。
- ・地域間の連結信頼性は重要であり、今夏の台風被害で高規格幹線道路が果たした役割を示して行くべき。
- ・地方創生の観点から北見市と女満別空港が繋がることにより、空港の利便性、付加価値が高まるので、それらの効果を示すことを検討すべき。
- ・高規格幹線道路はミッシングリンクが繋がる事により最大限発揮するため、端野～高野間だけではなく、足寄まで繋がる事が重要。

【委員長による総括】

- ・頂いた意見を踏まえたうえで地域意見聴取を進めていただきたい。

以 上